

進んで学ぶ生徒の育成
思いやりにあふれる生徒の育成
たくましく生きる生徒の育成



新しい比布中学校で

新学期がスタート

8月20日、比布中学校（田澤満校長・生徒80人）で第2学期を迎える生徒たちは新しい校舎を前に笑顔で完成を喜びました。



新校舎は、中央小学校と渡り廊下でつながるよう隣接して改築。

工事は昨年4月から着工し、今年6月27日に完成しました。

新校舎は、総工費が約11億8195万円。鉄筋コンクリート造り3階建て、延べ3,849・61平方メートルで、夏は涼しく、冬は暖かい外断熱工法を採用しているほか、普通教室からは大雪山連峰の眺望が素晴らしく、さらに、最新のICT（情報通信技術）を取り入れた設備を導入し、よりきめ細やかな授業ができるのが特長です。

8月19日には、町民見学会が行われ、新しい校舎の様子をひと目見ようと、約100人の町民の方が訪れました。

各教室や図書室、武道場など生まれ変わった中学校に、工事着工時から見守り続けていた木村宣昭さん（寿町）は見学会に訪れ、「今の時代に反映した機器が整備されていて

て素晴らしく、3階から見える景色は世界一 大雪山がきれいに見える町のキャッチフレーズに「ピッター」と笑顔で語ります。

また、翌20日に行われた第2学期始業式で、田澤校長が「地域の方や保護者たちの思いや願いの込められた校舎。さらに小中学校連携を深め、小学生があこがれる中学生になってほしい」とあいさつ。始業式後には、クラスごとに学校内を見学して歩きました。

第2学期から新しい校舎へ通う生徒たちは、「校舎がともきれいで新しくなって良かった」「床がピカピカ」「校舎の水がおいしく感じられる」「武道場ができてうれしい」など、これから過ごす校舎への期待と喜びでいっぱいです。

9月15日（土）は、全校地域参観日も予定されています。

今後は中学生と小学生が利用できるようグラウンドの再整備なども進められます。

なお、11月には落成式を予定しています。